

## 添付資料 18

国会会議録検索システム

トップ画面へ ▲

ヘルプ

## 本文表示

検索結果一覧画面 ▶

前会議録

次会議録

検索条件入力画面 ▶

[002/002] 51 - 衆 - 法務委員会 - 32号  
昭和41年04月28日

会議録(冊子)画像

発言者:   7 / 92検索語:  

○加藤参考人 おっしゃいますように、堅固な建物にした場合には期間の点が当然問題になるわけです。現行法でも、木造建物なら最低二十年ですが、堅固な建物だと最低三十年というように期間の点も違っているわけですが、実際問題とすれば、堅固な建物は半永久的な建物として存続するわけですから、おっしゃる点はまさにそのとおりだと思うのですが、ただその場合に、各地の慣習がかなり違っておりましたら、裁判所は当然それを考慮に入れなければならない。つまり従来、たとえば権利金を幾らもらっていたか、あるいは地代がどの程度であったかということは当然考慮に入れて、そうして対価と申しますか、新しく、それじゃどういうことでバランスをとるかということを考えることになるわけです。これは裁判官だけではやはり適当でないので、むしろそういう事情に通じた方々、あるいは庶民の感覚に近い方の意見も取り入れるべきではないかということ、法案にございます鑑定委員会というものを置いて、その点の実情に詳しい方、あるいは学識経験のある方に判断を手伝っていただくということになっているわけでございます。